

授業科目名	開講年次	開講期間	単位数	授業形態
看護倫理	1	前期	2	講義 30時間
担当教員	足立智孝、久保幸代、岡本明美、長江弘子、中島洋一、吉野妙子			
授業概要	看護実践の中で看護職が日常的に直面している倫理的問題及び葛藤について明確化し、それについて関係者間で倫理的調整を行なうための基盤的知識を習得する。授業では、原則に基づくアプローチ、系統的手順に基づくアプローチ、ナラティブ・アプローチについて、具体的な事例をもとに学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 倫理への接近法として、原則に基づくアプローチ、系統的なアプローチ、ナラティブ・アプローチを理解する。 2. 倫理的問題を分析するための基本的概念や原則について理解する。 3. 各看護学領域における倫理的諸課題を理解する。 4. 臨床における諸問題について、倫理的に推論し分析することができる。 			
履修条件	特になし			
授業計画	回	内容	担当教員	
	1	看護倫理総論	足立	
	2	倫理理論各論：功利主義、義務論、徳倫理	足立	
	3	看護倫理の方法論：原則論と物語論	足立	
	4	看護倫理の方法論：手順論	足立	
	5	看護倫理の基本的概念：ケアリングとアドボカシー	足立	
	6	倫理的意思決定：AD, ACP, SDM	足立	
	7	ウィメンズ看護学領域における倫理的問題	久保	
	8	小児看護学領域における倫理的問題	吉野	
	9	成人看護学領域における倫理的問題	岡本	
	10	老年看護学領域における倫理的問題	長江	
	11	精神看護学領域における倫理的問題	中島	
	12	看護実践で遭遇した倫理的問題の検討1(事例ライティングとワーク)	足立	
	13	看護実践で遭遇した倫理的問題の検討2(事例ライティングとワーク)	足立	
	14	看護実践で遭遇した倫理的問題の検討3(事例発表と討議)	足立	
15	看護実践で遭遇した倫理的問題の検討4(事例発表と討議)	足立		
教科書	特に指定しない			
参考書	宮坂道夫『医療倫理学の方法 第3版』(2016)フライ、ジョンストン『看護実践の倫理 第3版』(2010)、清水哲郎監修『看護倫理実践事例46』(2014)トム・L・ビーチャム、ジェイムズ・F・チルドレス『生命医学倫理』(2009)			
評価方法・基準	事例検討課題(70%)、授業内発表および討論への参加(30%)により評価する。			
事前・事後学習	事前学習：課題に関連する文献を熟読し理解を深めておくこと 看護基礎教育と継続教育における自己の課題を明確にして臨むこと 事後学習：講義やディスカッションで得た学びを振り返ること			
備考	特になし			